



—美しい兵庫をめざして—



財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

Hyogo Construction Technology Center for Regional Development



## ごあいさつ

財団法人  
兵庫県まちづくり技術センター

理事長 **山口 昇**

平成15年4月1日に財団法人兵庫県建設技術センターと財団法人兵庫県都市整備協会とが統合し、財団法人兵庫県まちづくり技術センターが誕生しました。

これまでの県、市町並びに関係機関の皆様のご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

今後も、高度化する建設行政需要に迅速・的確に対応するため、(1) 公共事業の発注者支援機能の拡充、(2) 一層の建設技術の向上、(3) 土地区画整理事業への取り組み、(4) 住民の参画と協働によるまちづくり活動等の支援により、より質の高い社会基盤及びまちづくりに貢献できるよう努めてまいります。

さらに、重点的に取り組む支援業務として、次の4項目を実施することにしております。

- ①社会基盤づくりやまちづくりの総合的支援  
市町事業に対し、相談、調査から工事完了まで、社会基盤づくりやまちづくり等を総合的に支援する。
- ②住民の参画と協働によるまちづくり活動への支援  
まちづくり支援機能の拡充を図るとともに、情報バンクの整備、充実に取り組むことにより、住民の参画と協働によるまちづくり活動を支援する。
- ③環境・新技術等への取り組み支援  
環境にやさしい工法やコスト縮減のための新技術等について、調査研究、導入支援に取り組むとともに、“つくる”から“つかう”への視点に基づいて、質の高い社会基盤の維持・確保についても技術支援する。
- ④人材育成支援  
建設技術職員の情報リテラシーの向上のための建設CALS/EC研修や階層別・専門分野別研修等の充実、まちづくり支援技術者を育成するための支援研修の開設等により人材育成を支援する。

県及び市町の皆様に安全で美しいまちづくりの推進に必要な技術と情報を提供するセンターとして、役職員一同、精一杯努力してまいりますので、引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成15年4月

### 設立目的

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、住民の参画と協働によるまちづくり活動等を支援することにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくりに寄与することを目的とする。

### 基本財産

4億200万円

### 出捐者

兵庫県および県内21市66町

### 設立年月日

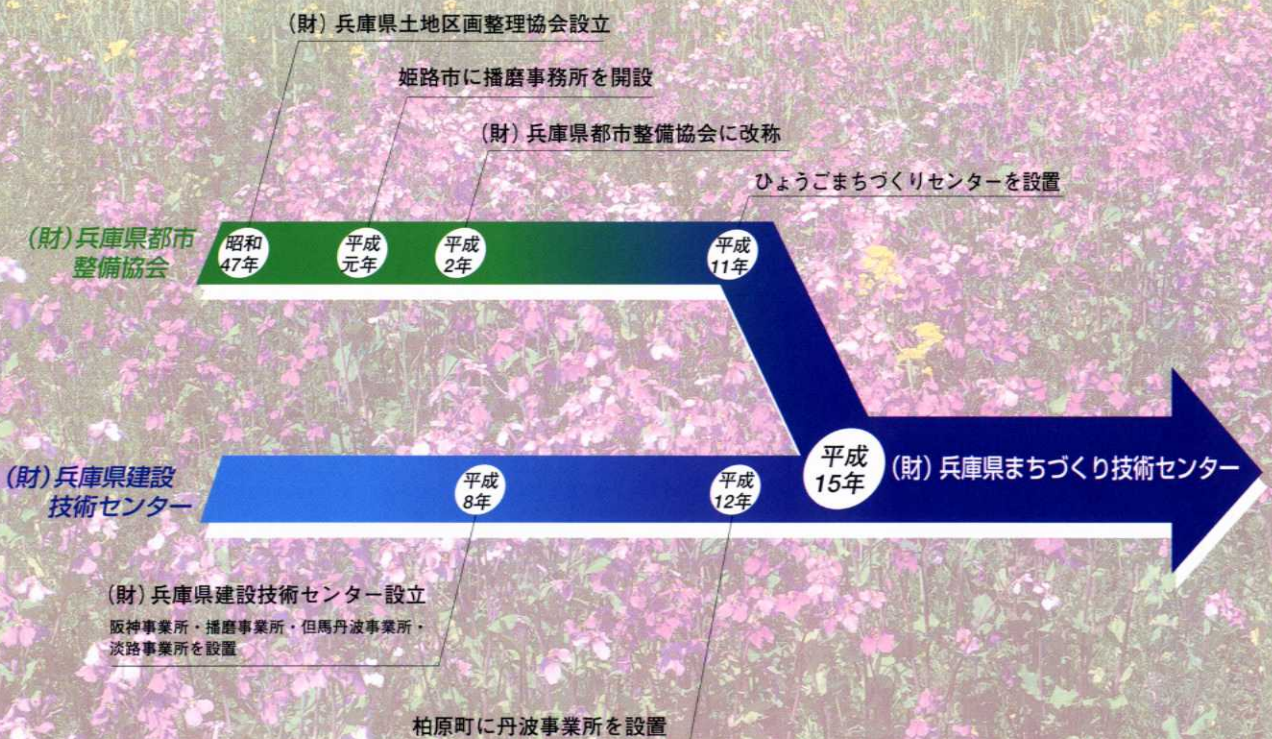
平成8年4月1日



## センターの業務

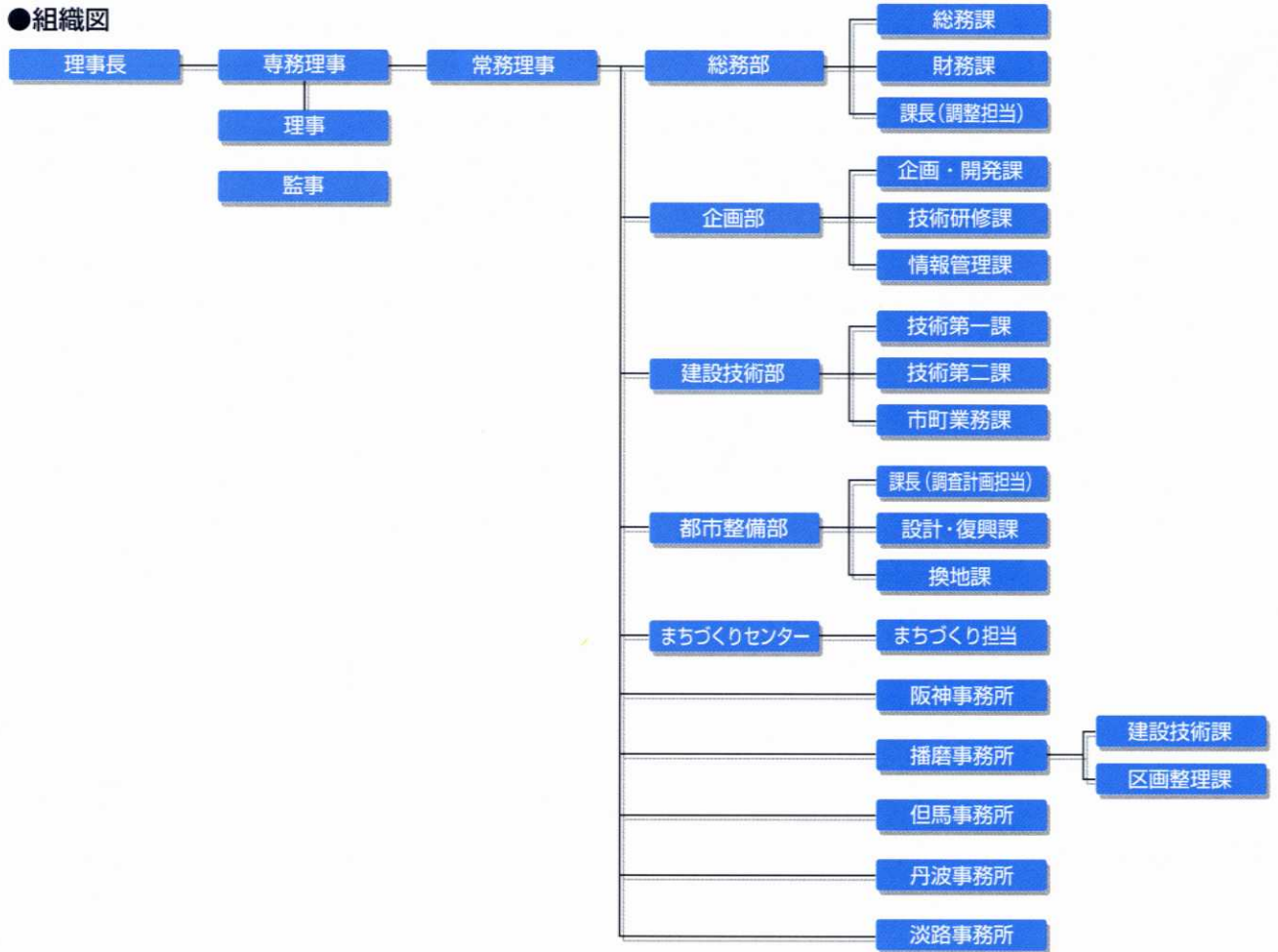


## 組織の沿革



# 組織

## ●組織図



## ●役員名簿

理事長	山口 昇
専務理事	荒木 捷文
常務理事	田中 只夫
〃	太田 博昭
〃	松尾 貢
理事 (姫路市助役)	高 泰久
〃 (西宮市助役)	小出 二郎
〃 (洲本市助役)	齋藤 晴久
〃 (伊丹市助役)	濱田 正義
〃 (加古川市助役)	吉田 正巳
〃 (篠山市助役)	稲川 敏之
〃 (吉川町助役)	香下 利忠
〃 (大河内町助役)	藤原 通宏
〃 (養父町助役)	小谷 益男
〃 (北淡町助役)	溝上 孝夫
監事 (三日月町助役)	井口 智章
〃	島本 健二

(平成15年5月現在)

## ●職員数

区分	兵庫県職員	県土地開発公社職員	固有職員	計
役員	3	0	2	5
総務部	5	0	6(3)	11(3)
企画部	6	0	3	9
建設技術部	12	2	4	18
都市整備部	1	0	16	17
まちづくりセンター	3	0	2	5
事務所	17	6	17	40
計	47	8	50(3)	105(3)

( )内書は県への派遣職員

## ●技術顧問

氏名	職名	専門分野
足立 紀尚	(財)地域地盤環境研究所(京都大学名誉教授)	トンネル工学、岩盤工学
加賀有津子	大阪大学助教授	環境設計情報学
笹田 剛史	大阪大学教授	環境設計情報学
藤田 和夫	断層研究資料センター理事長(大阪市立大学名誉教授)	地質学
村橋 正武	立命館大学教授	都市計画・地域計画

(50音順)

## 事業計画

成熟社会を迎え、これまでの社会システムや構造そのものを見直し、新しい価値やシステムの創造に向け、積極的な構造改革が求められている。兵庫県では「21世紀兵庫長期ビジョン」を指針として、美しい自然、美しい文化、美しい心のもとで豊かな暮らしを築く「美しい兵庫」の実現を目指すため、県民の主体的な地域活動を支え、あらゆる分野を通じて県民とともに進める、いわゆる「県民の参画と協働」を基本姿勢として地域づくりを推進することとされている。

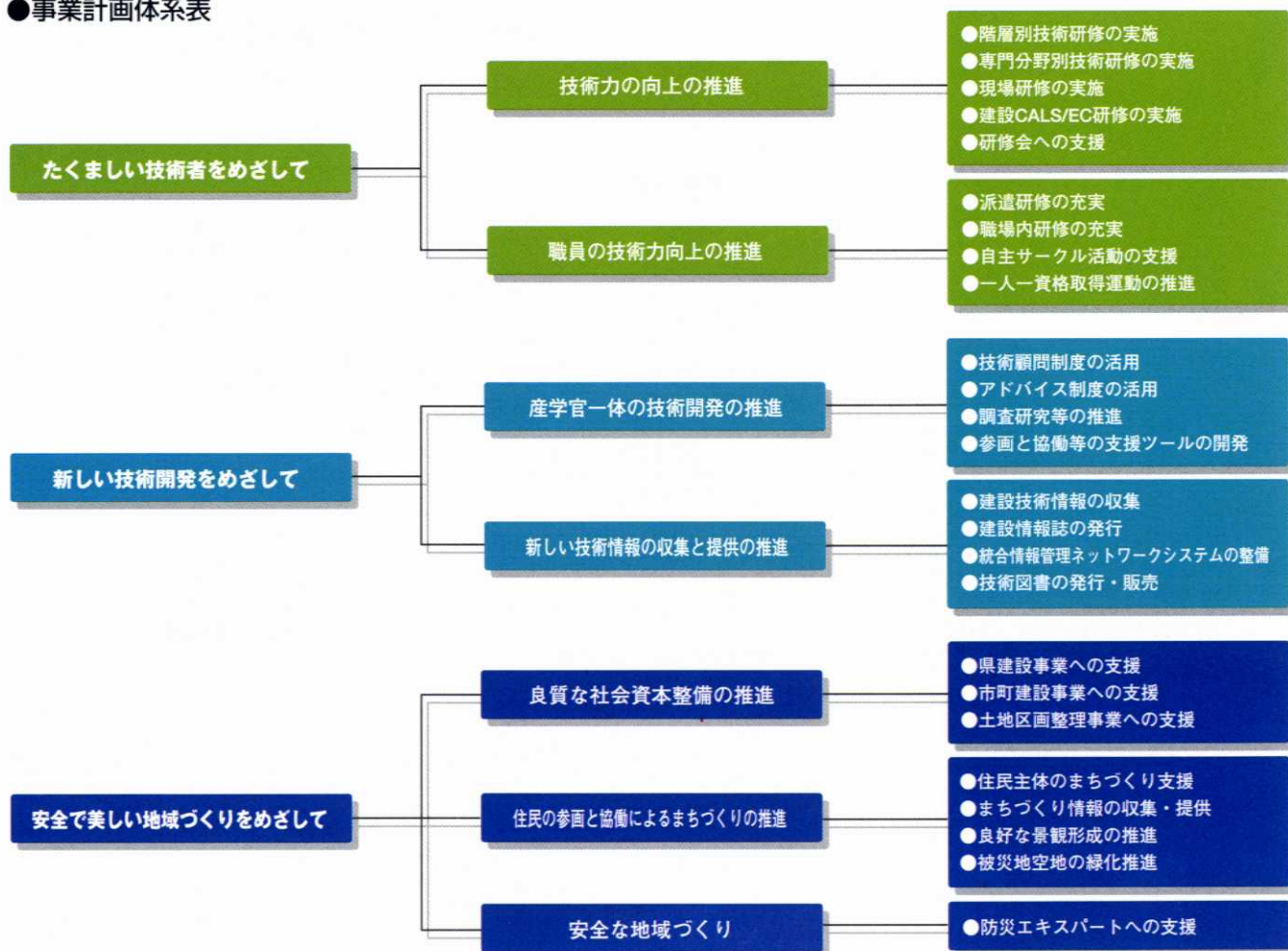
地域づくりにおける基盤施設の整備にあたっては、自然環境との共存、高度情報化の推進、コストの縮減、公平性・透明性の確保、事業評価の導入などに加え、説明責任を果たすことが重要であり、また入札制度においても「価格競争」から「技術力を重視した競争」の導入など、今までにない改革が求められている。

このような状況にあって建設行政の支援・補完を担っているまちづくり技術センターの使命と役割は極めて重要であり、技術力の向上と高度情報化をより一層推進するとともに公正・中立性の確保につとめ、調査計画から工事完成、評定までの一体的な支援を推進する。

また、各種研修や技術情報の提供につとめ、発注者の技術力や情報リテラシーの向上を支援する。

平成15年度においては、県・市町との連携のもとに「たくましい技術者をめざして」「新しい技術開発をめざして」「安全で美しい地域づくりをめざして」を三つの柱として、新たに参画と協働等の支援ツールの開発、新技術・新工法の導入、土地区画整理事業、住民主体のまちづくり支援などの事業を積極的に推進する。

### ●事業計画体系表



# たくましい技術者をめざして

建設行政や土地区画整理事業に携わる技術者が、自らに課せられた使命と役割を果たせるよう、専門知識・技術力を養う研修の開催などを行います。



盛土工と切土工設計のための地盤調査研修



道路計画研修

## 1. 技術力の向上の推進

### (1) 階層別技術研修の実施

建設技術職員の資質の向上を図るため、県・市町の職員を対象に、それぞれの階層に見合ったテーマで研修を実施します。

#### ①兵庫県 県土整備部技術職員

採用職員研修	当年度の採用職員／3日／新任技術職員としての基礎知識を修得
フォローアップ研修	前年度の採用職員／2日／測量～設計～積算の実務演習など
中級職員研修	採用後概ね6年程度の職員／1日／技術基準など専門知識の修得
中堅職員(主任)研修	当年度の主任昇格者／2日／課題解決能力を養う事例研究など
5級職員研修	地方機関の課長補佐／2日／政策課題に関するグループ討議など

#### ②市町建設事業担当職員

新任研修	実務経験が3年以内の職員／2日 積算、施工、監督など、職務上の基礎知識を修得
中堅研修	実務経験が10年程度の職員／2日 調査、設計、施工管理に役立つ専門知識を修得
部・課長研修	管理職等／1日 建設行政を巡る話題と情報の提供

#### ③市町等土地区画整理事業担当職員

新任研修	実務経験が概ね2年以内の職員／2日 土地区画整理事業の仕組みなど、基礎知識を修得
専門研修	実務経験者／1日 事業実施にあたっての専門知識



フォローアップ研修



建設事業担当新任研修



土地区画整理新任研修

### (2) 専門分野別技術研修の実施

分野ごとの専門知識を修得できる技術講習会を、県・市町の実務担当職員を対象に実施します。

舗装	アスファルト舗装の構造設計、材料、配合設計、品質管理等
PC橋(補修系)	PC橋の補強、点検・診断、補修
鋼橋(補修系)	鋼橋の補強、点検・診断、補修
道路計画	道路計画の手順と注意事項等
構造物基礎設計のための地盤調査	構造物基礎設計のための地盤調査の目的と方法及び得られるデータの解説
盛土工と切土工設計のための地盤調査	盛土工と切土工設計のための地盤調査の目的と方法及び得られるデータの解説

### (3) 現場研修の実施

県内外の先進的な建設事業や区画整理事業、それらに関する取り組みを学ぶ場として、県・市町の実務担当職員を対象に現場研修会を実施します。

県内現場研修会	1日（年2回）
県外研修会	1泊2日



県内現場研修会

### (4) 建設CALS/EC研修の実施

兵庫県建設CALS/EC整備計画に基づくCALSの推進・普及啓発に向け、公共事業の実務に携わる関係者の情報リテラシー向上を図るため、専門的知識の修得を目指した研修会を実施します。



電子施工管理システム操作研修

電子施工管理 実証実験参加者コース（1）	実証実験に参加する土木事務所の主幹および課長／1日（2回） ①CALS/ECの概要 ②電子施工管理システム操作
電子施工管理 実証実験参加者コース（2）	実証実験に参加する土木事務所の担当／1日（3回） ①CALS/ECの概要 ②電子施工管理システム操作 ③周辺機器の基礎知識
電子施工管理 実証実験参加者コース（3）	実証実験の対象工事を受注した施工業者の現場代理人／2日（3回） ①CALS/ECの概要 ②電子施工管理システム操作 ③周辺機器の基礎知識 ④デジタル写真管理
電子施工管理体験コース	県の実務担当者／1日（3回） ①CALS/ECの概要 ②電子施工管理システム操作 ③周辺機器の基礎知識
CALS/ECと インターネット技術コース	市町の実務担当者／1日（4回） ①CALS/ECの概要 ②インターネット操作 ③ファイル操作（圧縮・解凍・分割）
電子納品コース	県・市町の実務担当者／1日（県8回・市町4回） ①電子納品要領の解説 ②支援ソフトによるデータ作成 ③電子納品検査
CAD入門コース	県・市町の実務担当者／1日（県10回・市町4回） ①CAD製図基準の解説 ②CAD基本操作 ③簡単な作図演習
CAD初級コース	県の実務担当者／1日（4回） ①CAD製図基準の解説 ②作図演習
デジタル写真管理コース	県・市町の実務担当者／1日（2回） ①デジタル写真管理情報基準の解説 ②画像データの基礎知識 ③写真管理ソフトの操作

### (5) 研修会への支援

県・市町が実施する土木行政や土地区画整理事業に係る研修会等を支援します。

## 2. 職員の技術力向上の推進

(財)全国建設研修センターなどが主催する各種の研修会にセンター職員を派遣するとともに、その報告会などの職場内研修を随時実施し、また職員に対し、業務に関連する自主研究活動や資格取得を支援します。

# 新しい技術開発をめざして

## 1. 産学官一体の技術開発の推進

### (1) 技術顧問制度の活用

センターが行う諸事業や、県・市町からの相談に対し、専門的な指導や助言を受けるため、大学をはじめ各界の識者にセンターの技術顧問を依頼しています。

### (2) アドバイス制度の活用

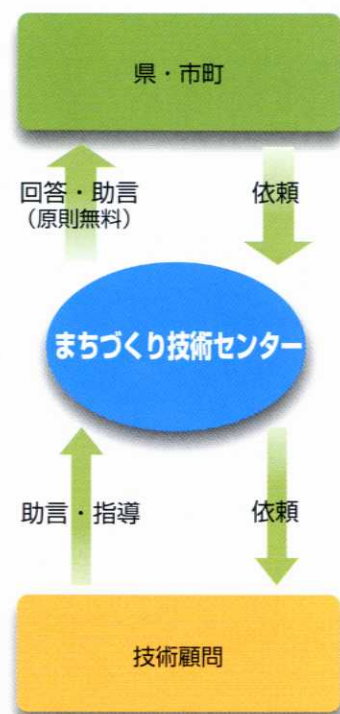
建設技術に関する質問や相談に対し、センターが有する技術力や情報、さらには技術顧問制度も活用しながら、回答や助言を行います。

### (3) 調査研究等の推進

県・市町が実施する建設技術に係る調査研究等を支援します。

### (4) 参画と協働等の支援ツールの開発

県・市町が実施する公共事業における住民の参画と協働を支援するために、事業完成後のイメージをコンピューターグラフィックスを用いて表現する等、行政と住民のコミュニケーションの橋渡しを行います。



社会基盤づくりやまちづくりに対する社会からの様々な要請に対応していくため、新技術の開発を支援するとともに各地で進められている新しい取り組みや技術情報を広く収集し、県・市町に提供します。



3次元空間を自由に移動し、任意の視点からの景観をリアルタイムに表現します。



## 2. 新しい技術情報の収集と提供の推進

### (1) 建設技術情報の収集

新工法、新技術の導入促進のための受付、審査資料作成、データベース化等の業務を行います。

### (2) 建設情報誌の発行

建設事業の紹介や建設技術の情報を提供するセンター機関誌「CON-TECHひょうご」を年3回発行し、県・市町の職員に配布します。

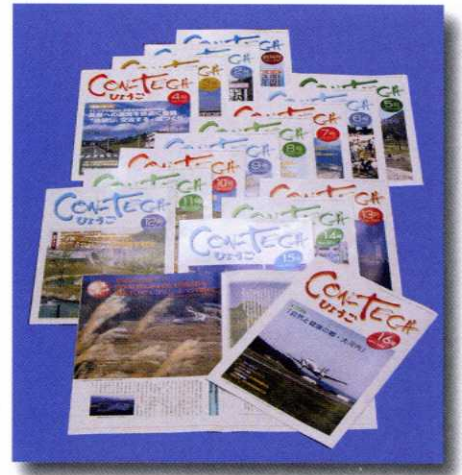
とりわけ、地域住民主体の建設事業を紹介していくことに重点をおき、県・市町が行う新規事業の参考となることを目標としています。

### (3) 統合情報管理ネットワークシステムの整備

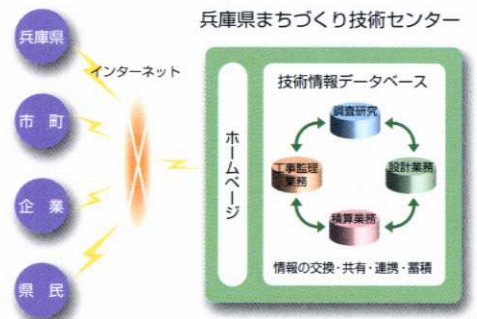
近年の情報化の進展に対応するため、インターネットを利用した情報交換、基幹データベース構築による情報の共有化などを開始することにより、県・市町に対する業務支援の充実とセンター内部の事務の効率化を図ります。

### (4) 技術図書の発行・販売

建設技術及び公共工事の契約に関する図書を発行・販売しています。また、平成14年度には県・市町の技術職員を対象に無料配付する「特記仕様書の作成手引き(案)」を発行しました。



CON-TECHひょうご



統合情報管理ネットワークシステム (概念図)



(ホームページ) <http://www.hyogo-ctc.or.jp>

#### ●販売図書

土木請負工事必携 (平成14年1月)  
土木工事共通仕様書 (平成14年1月)  
土木工事施工管理基準 (平成14年1月)

小型構造物標準図集 (平成13年1月)

土木設計業務等委託必携 (平成10年3月)

詳細設計照査要領/受注者用・発注者用 (平成10年3月)



#### ●平成15年7月増刷予定

兵庫の地質 (平成9年3月)



# 安全で美しい地域づくりを めざして

## 1. 良質な社会資本整備の推進

### (1) 建設事業への支援

#### 発注者支援（県・市町事業への支援）

県・市町が実施する公共土木工事の設計監理・積算・工事監理・建設工事支援検査・情報処理業務を支援します。

##### ①設計監理

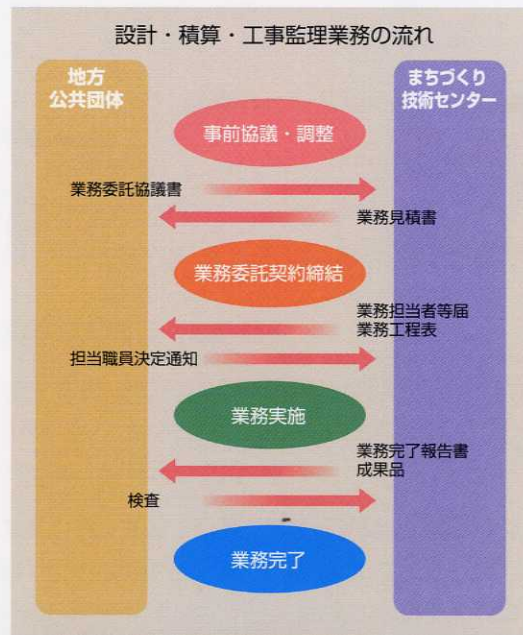
最新の技術情報と豊富な行政経験により、コンサルタント等の指導を行います。

##### ②積算

公正で中立、守秘性を確保します。また、会計検査時には技術的サポートを行います。

##### ③工事監理

技術管理規定や監督要領等の専門知識に精通しており、的確に請負業者を監督します。



県や市町が行う公共事業に関して、その効果的な推進を支援するため、設計・積算・工事監理・検査等の業務を受託します。

また、県下の都市の健全な発展と秩序ある整備の推進のため土地区画整備事業の促進を支援します。

## 設計・積算・工事監理業務

### 道路

工事名（主）洲本南淡線道路改良工事  
委託者 洲本土木事務所  
積算・工事監理



工事名（主）養父朝来線道路改良工事  
委託者 八鹿土木事務所  
積算



## 河川

工事名 (一) 岩屋谷川河川災害復旧等関連緊急工事・河川災害復旧助成工事  
委託者 柏原土木事務所  
積算・工事監理



工事名 (二) 新湊川広域基幹河川改修事業  
委託者 神戸土木事務所  
積算・工事監理



## 砂防

工事名 座頭谷川暗梁砂防堰堤工事(2期)  
委託者 西宮土木事務所  
積算・工事監理



工事名 三野畑川砂防ダム工事  
委託者 洲本土木事務所  
積算・工事監理



## 橋梁

工事名 (町) 荻縄柏野線金華橋上部工事  
委託者 上郡町  
工事監理



工事名 三木総合防災公園5号橋橋梁整備工事  
委託者 社土木事務所  
工事監理



## 造成

工事名 丹波並木道中央公園調整池設置工事  
委託者 柏原土木事務所  
工事監理



工事名 赤穂高等学校運動場整備工事  
委託者 教育委員会(兵庫県立赤穂高等学校)  
積算・工事監理



## ダム

工事名 新湊川総合開発事業石井ダム建設工事  
委託者 神戸土木事務所  
工事監理



## 公園

工事名 加古川河川敷マラソンコース整備  
委託者 加古川土木事務所  
積算・工事監理



## トンネル

工事名 国道176号鐘ヶ坂トンネル工事  
委託者 柏原土木事務所  
積算・工事監理



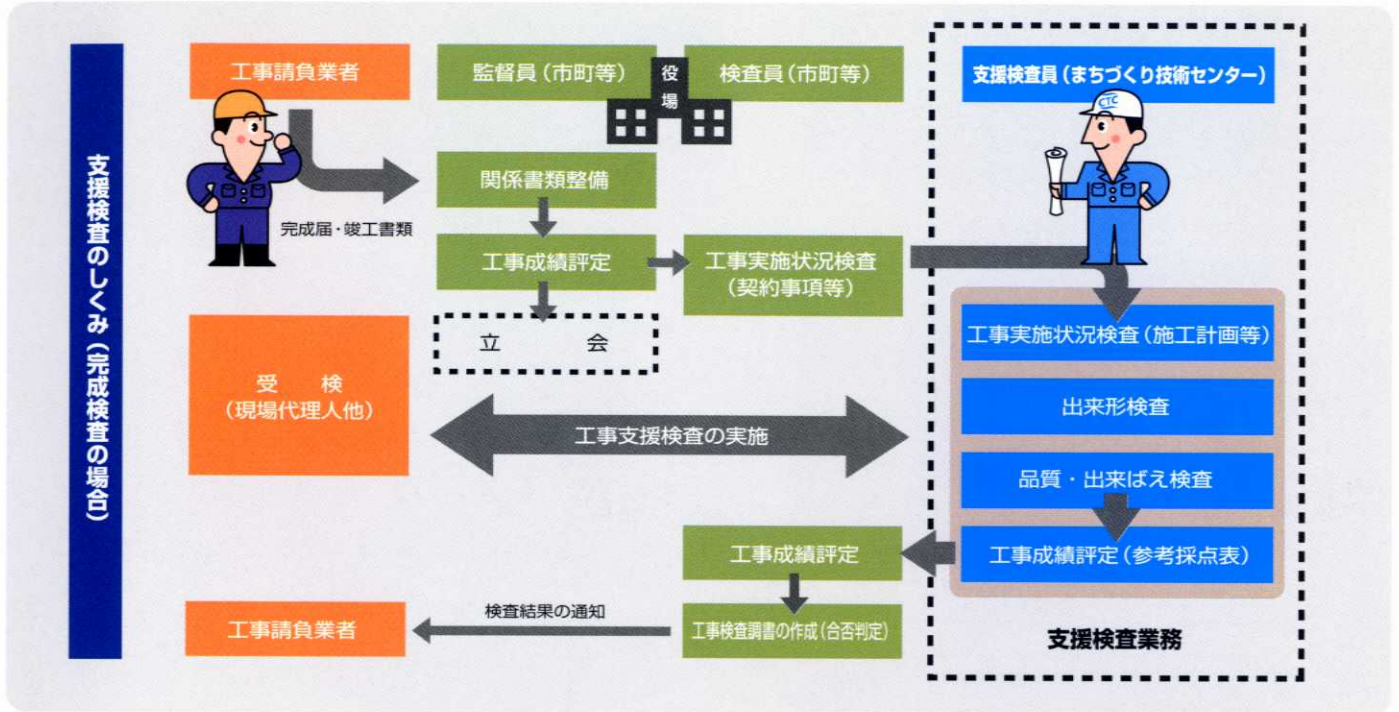
## 港湾

工事名 一宮町終末処理場建設用地造成工事  
委託者 一宮町  
工事監理



#### ④建設工事支援検査業務

工事のより適正な施工の確保、工事施工状況のより中立公正な評価を行うため、市町の検査業務の一部を補完・支援する業務を行います。当技術センターが行う「建設工事支援検査業務」は、道路、河川等の土木工事について、「支援検査員」が検査員（市町等）、監督員並びに請負業者等の立会のもと、設計図書等に基づき、工事実施状況の検査及び現場での出来形・品質の検査を行うとともに、工事成績の参考評定を行うものです。



#### 兵庫県防災エキスパート登録制度の支援

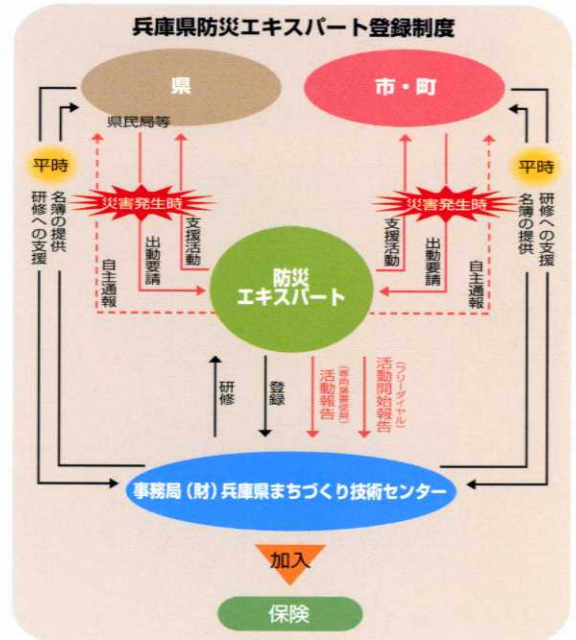
災害時には、道路や河川など公共土木施設の被害状況等を迅速、的確に把握することが重要です。このため、今後の大災害に備え、公共土木施設の整備や維持管理に長年携わってこられた県や市町職員のOBが、そのノウハウを活かしボランティアとして活動する「兵庫県防災エキスパート登録制度」を、兵庫県まちづくり技術センターが事務局となって運営しています。

##### ●防災エキスパートの登録状況 （平成15年4月現在）

出身団体	人数
国	3
県	255
市町	56
その他	2
合計	316



防災エキスパート携行品



##### ●防災エキスパート登録制度の活用

公共土木施設の管理者である県・市町は、事務局と締結する「活用に関する協定」に基づき、この制度を活用しています。

## (2) 都市計画及び土地区画整理への支援

### ① 都市計画への支援

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、各市町の都市計画に関する基本的な方針（都市計画マスタープラン）の策定や都市計画決定図書の作成を支援します。

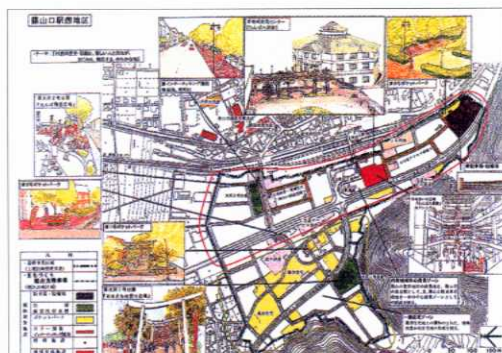
### ●都市計画マスタープラン



### ② 各種事業調査への支援

密集市街地整備、街なみ環境整備等の住環境整備事業、まちづくり総合支援事業等の事業調査策定等を支援します。

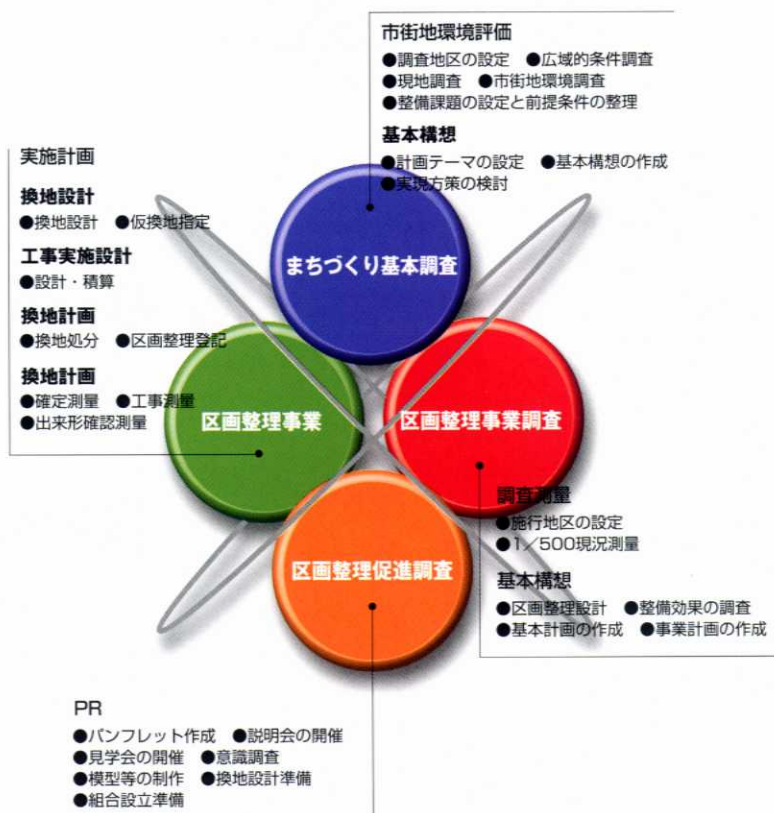
### ●まちづくり総合支援事業



### ③ 土地区画整理事業への支援

都市の将来の発展を計画的に誘導し、秩序ある健全な市街地を創造していくための調査計画をはじめ、土地区画整理事業着手までに必要となる土地及び権利調査、事業計画の作成、事業認可後には、換地設計・計画、工事実施設計等を行い、事業の立ち上げから完了にいたるまでを総合的に支援します。

また、土地区画整理事業の最大の特徴である、土地の交換分合という手法を活かし、“地域の特性を考慮したまちづくりの計画”を作成するとともに、事業計画段階からワークショップ等による計画案の策定を支援し、住民参加によるまちづくりの推進を行います。



# 土地区画整理事業

現地調査 (小野市王子地区)



施行中 (滝野町多井田新町土地区画整理事業)



施行後 (日高都市計画事業 江原駅東土地区画整理事業)



(東播都市計画事業 横尾・古坂土地区画整理事業)

施行前



施行後



## 2.住民の参画と協働によるまちづくりの推進／ひょうごまちづくりセンター



### (1) 住民主体のまちづくり支援

県下全域を対象として地域に根ざした住民主体のまちづくり活動を支援する「まちづくり支援事業」、及び阪神・淡路大震災被災地の10市10町の地域を対象として、復興にむけて展開される住民主体まちづくり活動を支援する「復興まちづくり支援事業」を実施します。また、県が地域住民との参画と協働で展開するコミュニケーション型県土づくりモデル事業において、まちづくり専門家バンクの活用により、住民による計画案づくり等の業務を支援します。

#### ●まちづくり支援事業の実施

- ・まちづくりアドバイザー派遣、コンサルタント派遣
- ・まちづくり活動助成
- ・まちづくり広域活動助成

#### ●復興まちづくり支援事業の実施

- ・まちづくりアドバイザー派遣、コンサルタント派遣
- ・まちづくり活動助成

#### ●コミュニケーション型県土づくり支援

- ・六甲山系グリーンベルト整備事業森づくり支援

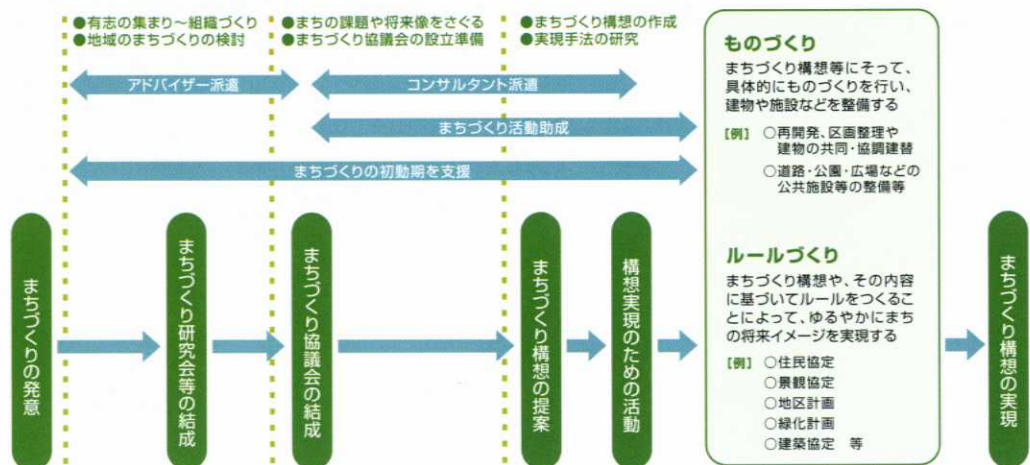


### (2) 人材育成と普及啓発

住民全体のまちづくり活動を支援する人材の育成と普及啓発に努めます。

- まちづくりコンサルタント等を対象とした「まちづくりコンサルタント会議」(年3回)
- 地域のまちづくりリーダー等を対象とした「ひょうご・まちづくり実践ゼミ」
- 市町担当職員等を対象とした「まちづくり現地視察セミナー」(年2回)
- 被災地域住民等を対象とした「復興まちづくりセミナー」(年2回)
- まちづくり協議会等の情報交換を行う「まちづくり活動団体交流会」(年1回)
- まちづくり協議会等のネットワーク組織の整備

#### 住民主体のまちづくりとまちづくり支援の事業の流れ



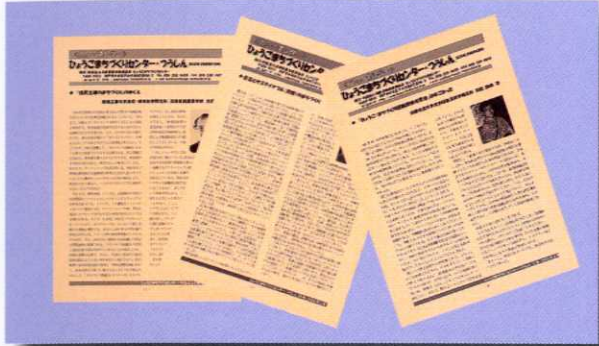
※この事業は、生活空間の創出につながる活動(ものづくり・ルールづくり)を対象とします。



### (3) まちづくり情報の収集・提供

まちづくりに関する様々な情報を提供します。

- 「ひょうごまちづくりセンター・つうしん」(年4回)
- まちづくりセンターホームページ、ライブラリーの拡充・運営
- まちづくりに関する情報バンクの整備



### (4) 良好な景観形成の推進

景観形成地区等を対象として修景事業を行う県民からの依頼に応じて景観形成を推進します。

- 修景助成事業
  - ・景観重要建築物修景助成
  - ・一般建築物修景助成
  - ・工作物等修景助成
- 修景支援事業
  - ・景観アドバイザー派遣
  - ・景観計画策定等支援



### (5) 被災地空地の緑化推進

被災地のまちの景観を向上させ賑わいを取り戻すため、被災空地において住民団体等の緑化活動を支援します。

- 被災地“花・緑いっぱい”推進事業
  - ・被災地空地の緑化推進助成

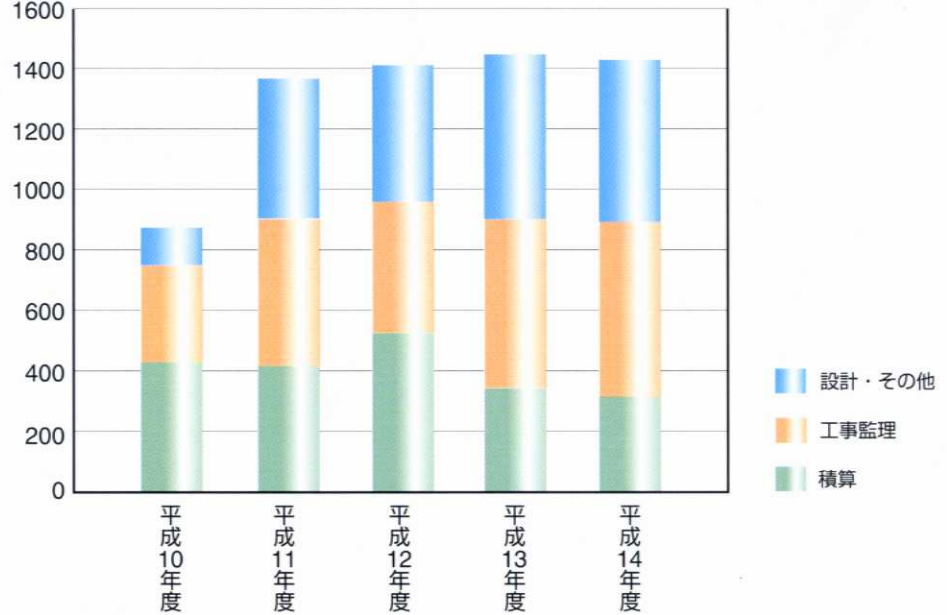


# 事業実績と計画

## 1. 受託事業の実績

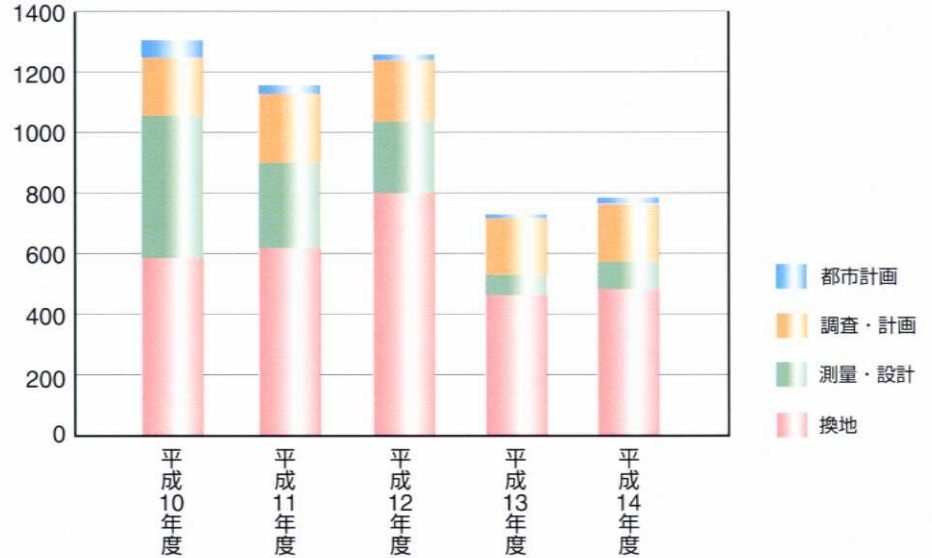
(1) 建設事業 (旧 兵庫県建設技術センター)

(百万円)



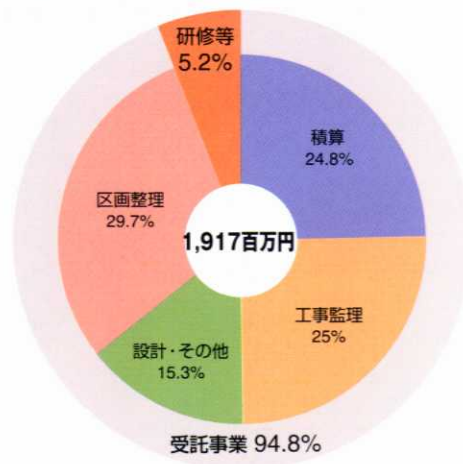
(2) 土地区画整理事業等 (旧 兵庫県都市整備協会)

(百万円)



まちづくり技術センター事業のあらましを受託事業の収入額、事業内訳、及び研修の開催回数と参加人数。

## 2. 平成15年度事業計画の内訳



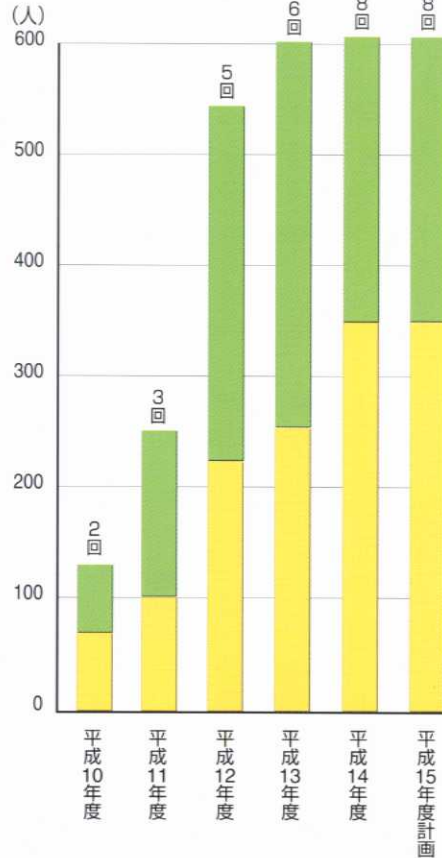
### 3. 研修の開催回数と参加人数

市町(区画整理) 市町(建設) 県(建設)

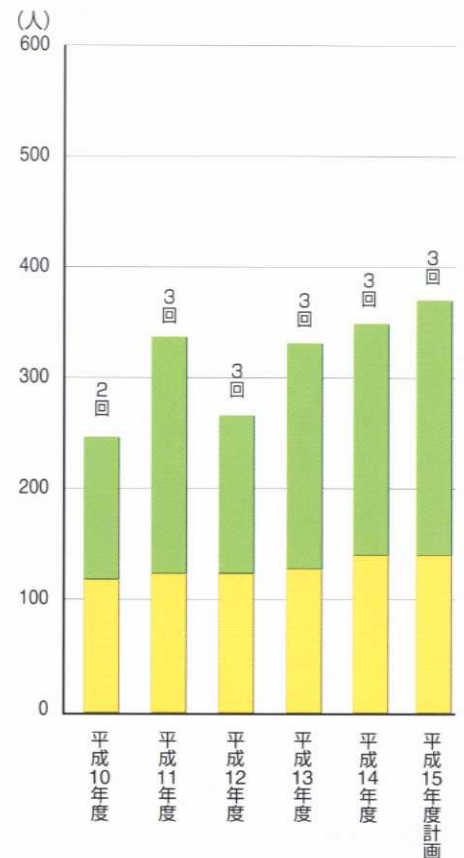
(1) 階層別技術研修



(2) 専門分野別技術研修



(3) 現場研修



(4) CALS/EC研修

名称	平成14年度参加人数	平成15年度計画
電子施工管理実証体験参加者コース(1)	119人/6回	40人/2回
電子施工管理実証体験参加者コース(2)	57人/3回	60人/3回
電子施工管理実証体験参加者コース(3)	59人/3回	120人/6回
電子施工管理体験コース	59人/3回	60人/3回
CALS/ECとインターネット技術コース	—	80人/4回
電子納品コース	48人/3回	240人/12回
CAD入門コース	56人/3回	280人/14回
CAD初級コース	—	80人/4回
デジタル写真管理コース	—	40人/2回

## 財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

〒650-0023

神戸市中央区栄町通6-1-21  
(神明ビル5・6F)

TEL 078-367-1230

FAX 078-367-1232

E-mail: info@hyogo-ctc.or.jp

URL: http://www.hyogo-ctc.or.jp

### ひょうごまちづくりセンター

(神明ビル2F)

TEL 078-367-1263

FAX 078-367-1264



### 阪神事務所

〒662-0857

西宮市中前田町1-25  
(和成ビル4F)

TEL 0798-34-2275

FAX 0798-34-2285



### 播磨事務所

〒670-0965

姫路市東延末5-83  
(播磨漁友会館3F)

TEL 0792-81-3377

FAX 0792-81-3388



### 但馬事務所

〒668-0055

豊岡市昭和町2-56  
(サカモトビル2F)

TEL 0796-29-3031

FAX 0796-29-3073



### 丹波事務所

〒669-3309

氷上郡柏原町柏原上中町東側280-1  
(NTT丹波柏原別館1F)

TEL 0795-73-3750

FAX 0795-73-3660



### 淡路事務所

〒656-0022

洲本市海岸通1-11-1  
(洲本ポートターミナルビル2F)

TEL 0799-25-5150

FAX 0799-25-5170

